

ぽれぽれ



通信

vol.16

自民党

衆議院議員 (2期 5年)

若さ・実績・情熱

山本ともひろ

第16号【5・6月号】

栄区 鎌倉市
逗子市 葉山町

38歳



休眠預金を活用する 議員連盟を創設！

~"預金は預金者のもの"が
大前提!!~

預金は当然、預金者のものである。しかし、10年以上、出入金のない、動きがない口座で所有者が所在不明のものは、休眠預金とされ、金融機関の私的利益となっているのが、現状である。直近の10年間で振り返ってみると、なんと毎年約500億円が金融機関の私的利益となっている。

そこで、その莫大な休眠預金を金融機関の私的利益とするのではなく、何とか世のため人のために活用することは出来ないものかと、この一年半の間、水面下で法制化に向けて研究してきた。もちろん、いつでも預金者が預金を引き出したいと申し出てきた場合は、必ず払いの戻すことが大前提であり、またこのような休眠預金活用プロジェクトを始動させることで預金者には、自らの預金をしっかりと管理してもらうことを啓蒙することも意図している。世の中から休眠預金がなくなることが理想なのである。

しかし、人間の性質や他の国々をみても休眠預金が無くなった事例はみられない。従って、どのように啓蒙したとしても休眠預金は、少なからず出てくるだろうという予測に基づいて休眠預金の活用を可能にする法整備を行おうという決意に至ったのである。

実は、自民党が下野をしていた頃、民主党政権下で休眠預金活用の動きがあり、その旨を閣議決定まで行っていた。そこで、どのような計画がなされていたのか研究してみた。が、その閣議決定がなされてほどなく解散総選挙に突入したこともあり、しっかりした計画は無かった。そこで、一から勉強を始めたのであるが、休眠預金活用ということは、つまり「ひと様のお金をひと様に渡す」という今までの概念を覆す、かなり画期的な、ある意味乱暴なことを

行うわけで、出だしから困難を極めた。

先ず、与党の自公と活用の閣議決定を実施

した民主党、それらの三党で、この問題に明るい、或いは興味を持っている議員が集まり、議員連盟を創設して議論を深めて行こうと思い、去年の4月に集まってもらった。しかし、あまりにも価値観、哲学、認識が懸け離れており、暗礁に乗り上げてしまった。相違点は、大きく二つあった。一つは、活用分野である。我々自公は社会的弱者に使うと考えていたが、民主党はそれに加えて、成長マネーにも活用したいとの意向があった。二つ目は、民主党は、この問題に政府を関与させない、民民で休眠預金を活用・使用したいとの強い意向があった。彼らの言を借りれば、「活用希望者・団体がネット上でその旨を提示し、それを見た人たちが"いいね"ボタンを押す。その数が多かったものに休眠預金を提供する」というようなものであった。前述のように「ひと様のお金をひと様に渡す」というような大それたことを民民で行うというのは、私の感覚では全く理解できなかった。あまりにも溝が深すぎたので、三党の関係者で議論することを一旦中断し、我が党の限られたメンバーでとにかく、法的に何が可能で何が不可能なのか、研究してから他党の議員に話を持っていこうと方針を転換した。

それから一年半、議員間の勉強会を56回、《ウラ面へつづく》



【休眠預金活用推進議員連盟
設立総会で挨拶する山本】

政治家って普段何してるの?!

誰もが疑問に思うこと！その疑問に山本ともひろが、twitterとFacebookを使いお答えします。そこには、普段考えもしなかった政治家の活動や苦悩があります。アクセス、フォローお待ちしております。



衆議院議員 山本ともひろ プロフィール

- 昭和50年(1975年)生まれ 38歳 鎌倉在住
- 関西大学 商学部 商学科 卒業
- 京都大学 大学院 法学研究科(行政学) 修士課程 修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年(2005年)衆院選 京都2区(近畿) 初当選
- 平成24年(2012年)衆院選 神奈川4区(南関東) 2期目の当選
- 平成24年(2012年)衆議院 文部科学委員会 理事など

省庁との協議を41回など会合数118回、総83時間を掛けて、休眠預金を活用する基本計画を練り上げ、4月25日に超党派による「休眠預金活用推進議員連盟」(以下、議連)を創設することが出来た。この間、我が党の塩崎恭久、坂井学、武村展英の三名の代議士、そして衆議院法制局、内閣府、金融庁の方々には、本当に多くの時間を割いていただき、基本計画作成にご協力いただいた。議連の会長には、塩崎代議士にご就任頂き、不肖山本は、事務局長を拝命した。全政党に参加を呼び掛けた結果、共産党を除く政党が応えてくれた。共産党は、今のところ不参加ではあるが、引き続き参加を呼びかけ続ける。

制度設計も大切ではあるが、休眠預金をどのような分野で活用するのか、そこが重要な論点になる。民主党政権では、成長マネーに活用したいとの意向があったので、財政的に苦しい国家が、いよいよ国民の預金にまで手を伸ばし始めた、との批判を受けていた。私は、全く逆の立場に立っている。国として予算はしっかり組んでおり、成長分野などには

既に施策を充てているので、国として休眠預金を求める必要はない。むしろ公的な資金を充てるにはそぐわない、しかし、助けを求めているような分野にこそ休眠預金を活用すべきだと考えている。つまり、世の中に公助・共助・自助があるとすれば、公助は既に公的資金や政策的に手当てがなされているので、休眠預金を活用する必要はない。共助や自助の分野で、もう少し人の手を貸してもらえれば、更に改善できるのに、というような分野に休眠預金を活用すべきだと私は考えている。私は、これを「自助・公助活性化対策」と銘打ち、これから推し進めていきたい。

これからは、議連において全国銀行協会、NPO団体、NPOバンクなど外部の方々へのヒヤリングや議連に参加した議員達と開かれた議論を行い、休眠預金活用に関する法案を作成し、議員立法として法制化を目指していく。この問題は、本紙において引き続き経過報告を行う予定である。

会議をするなら自由民主4区会館。



【自由民主4区会館】

JR鎌倉駅(西口)前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの活動を支えるためだけに使うのではなく広く世に開放しています。2つの会議室を擁し、事前に予約をして頂ければ、ご利用頂けます。

但し、公職選挙法により無料で開放することが出来ません。従って右記の通り使用料を頂きます。地域や町内の活動のための会議などにご活用頂ければ幸いです。定期的、或は商業目的にご使用になる場合はご相談下さい。



【第1会議室】



【第2会議室】

○自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料(円)		
	午前 9-12時	午後 13-17時	夜間 18-22時
第1会議室(15人)	1,000	1,000	1,000
第2会議室(15人)	1,000	1,000	1,000

住所:鎌倉市御成町12-4 JR鎌倉駅西口前
TEL:0467-38-6411

あなたの駅は何枚でしょう? ぼれぼれ通信 vol.15

山本ともひろ後援会機関紙「ぼれぼれ通信」を4区内の右記の駅で朝の6:30~8:30までの2時間駅頭活動をさせて頂き本紙を配布させて頂いております。雨の日は、鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動は行っておりません。

3月と4月の配布状況は右の通りです。皆様のご利用の駅はどのような状況でしょうか?

3月	駅名	枚数	4月	枚数	前月比
3日(月)	逗子駅	280	1日(火)	294	◇
4日(火)	新逗子駅	268	7日(月)	339	◇
6日(木)	鎌倉駅(東口)	424	10日(木)	474	◇
10日(月)	鎌倉駅(西口)	559	11日(金)	477	◆
7日(金)	大船駅(西口)	513	15日(火)	469	◆
11日(火)	大船駅(モルル口)	400	17日(木)	517	◇
13日(木)	大船駅(東口)	436	14日(月)	422	◇
17日(月)	大船駅(笠間口)	600	22日(火)	502	◆
18日(火)	本郷台駅	436	24日(水)	390	◆
24日(月)	港南台駅	136	25日(木)	170	◇
	3月配布合計	4,052	4月合計	4,054	◇

ぼれぼれ通信の由来

ぼれぼれとは、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。一度に全てを変えることは無理だけど、それでも諦めずにゆっくりでも、少しずつでも政治を変えていきたい。それを誰かが、やらなければ、この国は良くならない。その活動を本紙でご報告します。ノ

私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせ、政治を志すきっかけとなりました。だから、その国の言葉を使うことにしました。twitterやFacebookのアカウントのpolepoleもその思いからです。本紙をどうか末永くご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

- ・本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943
- ・国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室 TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623
- ・自由民主4区会館 神奈川県鎌倉市御成町12-4 山田ビル3F TEL:0467-38-6411